

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和8年3月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.98)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



第4回学校運営協議会を開催しました！

各小・中学校では、今年度最後になる第4回学校運営協議会を行われました。会議では学校関係者評価報告書と令和8年度学校運営計画が提案、承認されました。次年度の重点教育目標は、広尾小が「自ら学び、心豊かに伸びる子どもを育てる」、豊似小が「学びをつなぎ、心をつなぎ、力を出し切る子の育成」、広尾中が「自立に向けて前向きに！自分でみんなでつながって」となりました。

また、熟議で学校や地域の教育環境について意見交換をしましたので、委員の皆さんから出された主な意見を紹介します。なお、豊似小学校の会議は、都合により書面での対応となりましたので、熟議はありませんでした。

【広尾中学校（2月26日実施：熟議「学校・地域の教育環境」）】

＜プラス面＞ ・ボランティア活動 ・町をよく知る人がある ・町の長い歴史 ・地域イベント ・コミュニティのつながり ・顔見知り ・農、漁、商、工を生かす ・自然が豊か ・少人数での団結力 ・生徒への手厚い指導 ・地域との距離が近い 等

＜マイナス面＞ ・スポーツを指導する人のつながりがほしい ・クラス替えが無い ・多様なクラブ活動ができない ・刺激のマンネリ化 ・都市部との移動時間 等



【広尾小学校（3月9日実施：熟議「学校・地域の教育環境」）】

＜プラス面＞ ・豊かな自然環境 ・漁業が身近に感じる ・特色ある産業 ・歴史のある町 ・美味しいものが多い ・子どもが互いに理解しあえる ・先生方のきめ細かな教育 ・親の仕事を知る ・いろいろな体験ができる ・ひろお学 ・小中高の連携 ・子どもの仲がよい ・放課後の時間が長い ・地域との距離が近い ・地域コミュニティのつながり ・新しい公園の活用 等

＜マイナス面＞ ・十勝中心部からの移動時間 ・津波、地震等の災害 ・自然が多いが危険もある（熊の出没等） 等



広尾高校の学校運営協議会より

広尾高校の第4回学校運営協議会が3月11日に開催されました。会議では、今年度の学校評価結果と8年度の学校運営基本方針についての説明があり承認されました。重点教育目標は、引き続き「セルフプロデュース力を身に付ける」になりました。また、グループに分かれての熟議では、広尾町の強みと広尾高校の魅力化について意見交換をしましたので、主な意見を紹介します。

＜広尾町の強みについて＞ ・自然が豊か ・十勝港がある ・農業、漁業、林業がある ・サーフィンやラグビーができる ・いろいろな体験ができる ・新しいことに挑戦するチャンスがある ・地域が受け入れてくれる 等

＜高校の魅力化について＞ ・カナダ国際交流 ・少人数での手厚い指導 ・ホームページでPR ・生徒のニーズに合う取組 ・探究活動の充実 ・特色ある活動（サーフィン等） ・いろいろな体験活動 等



地域の協力による教育活動紹介



2月9日に広尾小学校で2年生を対象にしたブックフェスティバルが開催されました。当日は、読み聞かせサークル「かけはし」の皆さんや町立図書館の職員が活動を支援しました。子どもたちは、紙芝居を見た後、しおり作り、折り紙、好きな本を借りるなどをして楽しく過ごしました。こうした活動を通して、読書に対する興味関心が高まると思います。なお、16日には1年生対象に同様の活動が行われました。

冬も元気に遊ぶ～豊似小の放課後活動

3学期も、豊似小学校の放課後活動は、パオバブ（包場部）の皆さんの支援により定期的に実施されています。2月20日の活動（写真）では、子どもたちが雪上で鬼ごっこをしたり、グラウンド横の小山でそり滑りをしたりと、寒さに負けず笑顔で元気に遊んでいました。1年を通して、それぞれの季節の自然のよさを感じながらの活動が、子どもたちの豊かな心を育てています。

